

小学6年

国語

論の進め方を 読む

筆者は どんな 順で、どんな 事例を 使って 伝えているか

自分で 考えて 書きましょう。わからない ときは、QRコードで 動画の 場面を 見よう。

- ① 「水とうを 持って 出かけよう」という 文章の 三つの 段落です。ア「外で のどが かわいて、こまった ことは ないだろうか。」、イ「わたしは 遠足で 水とうを わすれ、つらい 思いをした。」、ウ「重いという 人も いるだろう。しかし、小さい 水とうなら 軽い。」。読む 人がもちそうな 反対の 考えを 取り上げて、それに 答えている 段落は どれですか。



動画で 見る

場面 4

「どんな 順で 書いているか」

- ② 「あいさつは 自分から」の 文章で、筆者は「先に 声を かけられて、うれしく なった ことがある。」という 体験を 書いて います。何のために 書いたと 考えられますか。ア「主張を 支える 事例に するため」、イ「話題を べつの ものに 変える ため」、ウ「読む 人に 問いかける ため」から えらびましょう。



動画で 見る

場面 3

「どんな 事例を 使っているか」

- ③ 「あいさつは 自分から」の 文章を 読んだ 二人の 考えです。ア「体験が 一つだけなので、ほかの 人の 例も あると、もっと 納得できる。」、イ「わたしも、あいさつは 大切だ と思う。」。論の 進め方について 考えを 書いて いるのは、どちらですか。



動画で 見る

場面 5

「進め方について 自分の 考えを もつ」

論の進め方を読む

筆者はどんな順で、どんな事例を使って伝えているか

- ① 「水とうを持って出かけよう」という文章の三つの段落です。ア「外で のどが かわいて、こまったことはないだろうか。」、イ「わたしは 遠足で 水とうを わすれ、つらい 思いをした。」、ウ「重いという人も いるだろう。しかし、小さい 水とうなら 軽い。」。読む人がもちそうな反対の考えを取り上げて、それに答えている段落はどれですか。

ヒント 「～という人も いるだろう。しかし、～」という書き方をさがそう。

答え ウです。「重いという人も いるだろう」と反対の考えを取り上げ、「しかし」のあとで答えています。アは読む人への問いかけ、イは筆者の体験(事例)です。

- ② 「あいさつは自分から」の文章で、筆者は「先に 声を かけられて、うれしく なった ことがある。」という体験を書いています。何のために書いたと考えられますか。ア「主張を支える事例にするため」、イ「話題をべつのものに 変えるため」、ウ「読む人に 問いかけるため」からえらびましょう。

ヒント この体験は、終わりの段落の主張と、どうつながっているかな。

答え ア「主張を支える事例にするため」です。先にあいさつをされてうれしかった体験は、「だから、あいさつは自分からしよう。」という主張を支える事例になっています。

- ③ 「あいさつは自分から」の文章を読んだ二人の考えです。ア「体験が一つだけなので、ほかの人の例もあると、もっと納得できる。」、イ「わたしも、あいさつは大切だと思う。」。論の進め方について考えを書いているのは、どちらですか。

ヒント 筆者の書き方(順や事例)に目を向けているのはどちらかな。

答え アです。筆者が使った事例に目を向けて、足りないと思う所を理由といっしょに書いています。イは、文章の内容についての自分の考えで、進め方についての考えではありません。